

公益財団法人とちぎ未来づくり財団

令和3(2021)年度事業報告 参考資料

1	青少年健全育成事業 (栃木県青少年育成県民会議事業)	1
2	子ども総合科学館事業	4
3	とちぎ海浜自然の家事業	9
4	なす高原自然の家事業	13
5	文化振興関係事業	17
6	埋蔵文化財センター事業	25
7	栃木県総合文化センター事業	31

A. 次代を担う子ども及び青少年の健全育成及び福祉の増進に資する事業

1 青少年健全育成事業〔栃木県青少年育成県民会議事業〕

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 啓発資料等の作成・配布

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	種別	目的	作成部数等	配布先	活用方法等	備考
1	機関誌 「青少年とちぎ」	青少年の健全育成に役立ち、県内各地で活躍されている指導者各位を結ぶ架け橋の役目を果たすとともに、一般県民に青少年健全育成活動を紹介する。	3,250部 (3,250部×1回) 3月配布	各市町、関係機関、財団（青少年育成県民会議）賛助会員ほか	賛助会員には直接郵送するとともに、各市町や関係機関を通じて一般県民に配布した。	
2	「県民運動」 啓発物品	心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成するための県民運動を一般県民に周知する。	ウェットティッシュ 3000個 ポスター 1200枚	県内全市町村民会議	各市町村民会議を通じて、総会や研修会の折に、一般県民にウェットティッシュを配布した。また、絵日記コンテストの入賞作品を利用した啓発ポスターを作成、関係団体に配布し周知への協力を依頼した。	

2 県民大会等の開催

No.	名称	目的	内容	対象・参加者数	実施日・回数	周知方法	備考
○ 1	少年の主張発表県大会	県内の中学生の若者としての誇りと自主性を育てるとともに、健全育成に対する大人の理解と関心を深める。	県内8地区より選出された代表16名の中学生による「少年の主張」発表県大会を実施した。	・地区大会： 中学生参加者総数 15,072名 ・県大会：発表者16名 聴衆50名 ※新型コロナウイルス感染症予防のため、関係者のみの参加とした。	・地区大会 8～9月（書面審査） ・県大会： 9月18日（土） 栃木県総合文化センターサブホール	県内全中学校、青少年育成関係団体にポスターを配布、当財団及び県ホームページ等	
○ 2	心豊かな青少年を育む県民のつどい	県民運動をより一層推進し、地域全体で青少年を育てていくという意識を高揚させる。	青少年の健全育成に資するため、青少年健全育成関係者表彰並びに青少年による作文発表、有識者による講演等を実施した。 ・表彰式（県知事表彰、県民会議表彰） ・社会を明るくする運動優秀賞受賞者作文発表、少年の主張最優秀賞主張発表 ・東京石灰工業株式会社 菊池 宏行氏講演会 ・県警音楽隊演奏会	・参加者 300名 ※新型コロナウイルス感染症予防のため、関係者のみの参加とした。	11月16日（火） 栃木県総合文化センターメインホール	関係者への通知発出	

3 研修会、講習会等の開催

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日等	参加者数	選定方法	周知方法	備考
1	青少年育成市町村民会議等全体連携会議	青少年育成運動の円滑かつ効果的な推進を図り、各青少年育成関係団体のより広い連携の在り方を考える。	栃木県総合教育センター	—	市町村民会議や育成指導員、青少年育成関係団体	中止				
2	青少年育成市町村民会議等全体研修会	青少年育成運動の円滑かつ効果的な推進を図り、各青少年育成関係団体のより広い連携の在り方を考える。	とちぎ青少年センター	一社栃木県若年者支援機構荻野友加里氏による講話「孤立しがちな子どもとその保護者を支える」を実施【オンライン】	市町村民会議や育成指導員、青少年育成関係団体（学校関係者を含む）	2月15日	80名	希望者全て	関係団体等への通知	
3	親子学び合い事業講師養成講座	子ども達に価値あるネットとの向き合い方、自分を成長させるネット利用について新たな気づきを与える講座の講師を養成する。	とちぎ青少年センター等	合同会社ロジカルキット代表の下田太一氏を講師に、「親子学び合い事業」で講師として活動できる人材の育成を行った。	「親子学び合い事業」の講師として活動できる方、資質向上のためのフォローアップ研修に参加できる方	①10月18日 ②11月29日 ③～⑩は個別対応 ⑪2月24日	6名 (全員を講師として認定)	書類審査により受講者を決定	青少年育成関係団体にチラシを配布	
4	親子学び合い事業フォローアップ研修	親子学び合い事業講師のスキルアップを目指し、講座内容の定着や資質の向上のための研修を実施する。	とちぎ青少年センター等	合同会社ロジカルキット下田太一氏を講師に、講座に使用する資料の確認や、講師としての知識の底上げに資する資料提供等を行った。	とちぎネット利用アドバイザーとして認定された講師	①5月9日 ②8月22日 ③10月17日 ④3月5日	22名	とちぎネット利用アドバイザー		

4 講師等の派遣

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	参加者数	選定方法	周知方法	備考
1	親子学び合い（児童生徒と保護者のためのネット時代の歩き方講習会）	ネット時代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境づくりについて考える機会を設け、スマートフォン等の特性についての知識を普及する。	各小中学校等及び各特別支援学校	主に民間有識者を講師として派遣し、1時間を目安に講話を行った。	小・中学校、義務教育学校の児童生徒・保護者等 特別支援学校の児童生徒・保護者	各小中学校72回 ※新型コロナウイルスの影響による中止9校 特別支援学校2回	小中学生7963名 保護者等2164名 教職員507名 児童生徒名65名 保護者等4名 教職員18名	青少年育成市町村民会議推薦校 希望校全て	市町村民会議を通じて各小・中学校、義務教育学校に通知、ホームページ 各特別支援学校に通知、ホームページ	

5 助成事業

No.	名称	目的	内容	対象・団体数など	選定方法	周知方法	備考
1	市町村民会議活動促進補助金	市町村民会議が青少年健全育成のために行う事業の促進を図る。	市町村民会議が、社会環境の浄化や健全な家庭づくり推進活動など青少年健全育成のために行う事業に対して助成した。	全市町村民会議（25市町の市町村民会議）	対象全て	市町を通じて該当市町村民会議に通知	
2	青少年育成指導員等研修会助成金	育成指導員と地区青少年育成連絡協議会との連携を深め、資質の向上を図る。	各地区青少年育成連絡協議会が、育成指導員との連携を深めるために実施する講話・演習などの開催に対して助成した。	県内8地区の青少年育成連絡協議会 (新型コロナウイルスの影響により1団体が辞退。最終的に7団体への助成となった。)	対象全て	各青少年育成連絡協議会に通知	
3	青少年育成指導員会自主研修会等助成金	育成指導員会の、青少年育成及びその指導に関する資質の向上を図る。	育成指導員会が、年3回程度実施する講話・演習・発表会の開催に対して助成した。	青少年育成指導員会	対象は一つのため選定せず	青少年育成指導員会に通知	
4	少年の主張発表地区大会交付金	地区大会において青少年の健全育成を推進するとともに、その意義と重要性について県民の意識を高める。	青少年育成連絡協議会が実施する、国公立立中学校・義務教育学校、特別支援学校中等部より選出された代表による発表会の開催に対し助成した。	県内の8地区青少年育成連絡協議会	対象全て	各青少年育成連絡協議会に通知	
5	青少年リーダー支援事業費補助金	各市町で活動するジュニアリーダーズクラブ等の青少年ボランティアグループの活動を支援する。	各市町のジュニアリーダーズクラブや青少年ボランティアグループが行う地域での青少年育成活動やボランティア活動、研修活動等に対して助成した。	実施団体：8団体 (新型コロナウイルスの影響により2団体が辞退。最終的に6団体への助成となった。)	市町村民会議からの推薦により、予算の範囲内で助成	各市町村民会議に通知	

6 表彰

No.	表彰名	表彰者	対象者・人数など	選考方法	周知方法	表彰基準	表彰場所
1	栃木県青少年育成県民会議表彰	栃木県青少年育成県民会議 会長、理事長	a 子ども育成・憲章功労者 28名 b 子ども育成・憲章功労団体 8団体 c 社会貢献青少年（概ね30歳未満）3名 d 優良青少年団体（概ね30歳未満の青少年が構成する団体）3団体	市町長又は市町教育長からの推薦に基づき、県、県教育委員会、県警察本部、当財団からなる選考委員会の審査・選考で決定	各市町、関係機関への通知、ホームページ	a 原則5年以上の活動 b 原則5年以上の活動 c 原則3年以上の活動 d 原則5年以上の活動	総合文化センター
2	「家庭の日」絵日記コンテスト	栃木県知事	・コンテスト応募：絵日記＝1331点 入賞者：13名	県、県教育委員会、県警察本部、新聞社、当財団からなる選考委員会の審査・選考で決定	チラシを各関係団体へ配布、新聞、当財団及び県ホームページ	家族のふれあいをテーマにした心あたたまる作品	総合文化センター

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	子ども総合科学館	21世紀の本県を担う子どもたちが、学校や家庭では得難い科学的な知識や経験を自ら楽しみながら学習するとともに、子ども自身が進んで活動できる場を整備することによって、科学する心や文化を創造する心を育て、情操豊かな心身ともに健全な子どもを育成することを目的に栃木県が昭和63年に設置した。 展示を中心とした科学及び科学技術の普及啓発施設としての機能と健全な遊びを通じて心身ともに健全な子どもの育成を図るための児童厚生施設としての機能を併せ持っている。	宇都宮市西川田町5 67番地	展示場、多目的ホール、企画展示室、学習室3、プラネタリウム、天文台、屋外遊具、乗り物広場(ミニ機関車、変わり種自転車等)	展示場：大人550円 小人220円 プラネタリウム：大人220円 小人110円 ミニ機関車・変わり種自転車 大人220円、小人110円 ※小人は4歳以上中学生以下	栃木県

2 主催事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
1	常設展示場の一般公開と運営	常設展示品やサイエンスショーにより、わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科学館	解説員による展示内容や操作方法の説明、サイエンスショーによる科学現象の紹介、大型シミュレーターの運行等。展示品の日常管理、故障展示品の修繕等。	幼児～一般県民	通年(休館日を除く毎日)、ショーなどは感染状況と合わせて実施回数を調整した。	85,623名	特になし	催し案内、ホームページ等	栃木県
2	企画展(夏) 「シカクのフシギ」	常設展示にない分野や話題性に富んだものを補完し、わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科学館	錯視や錯覚、トリックアートなどの展示と、色や光、人間の視覚について解説。臨時休館のため7日間の開催	幼児～一般県民	7/22～7/29	4,567名	特になし	企画展ポスターの管内掲示、ホームページ等	栃木県
3	企画展(春) 「図鑑の世界に飛び込もう」	常設展示にない分野や話題性に富んだものを補完し、わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科学館	小学館のくらべる図鑑巡回展に当館独自の要素を追加して実施。	幼児～一般県民	3/19～4/6	9,722名	特になし	ちらし各学校に送付、ポスターの管内掲示、ホームページ等	栃木県
4	科学技術コンクール 「ロボット・チャレンジ」2021	試行錯誤をしながら創意工夫する製作活動を通して、物づくりの困難や楽しさ、達成感を味わい、科学的探究心と技術力を養うきっかけとする。	子ども総合科学館	自作のロボットを操作して、障害物コースの走行時間を測定する競技を行った。	中学生～一般県民	11/7	164名	特になし	ホームページ等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
5	科学フェスティバル	多数の実験ブースや工作ブース、サイエンスショーコーナー等で会場を構成し、来館者に科学や物づくりに親しむ場を提供する。	子ども総合科学館	地域外部団体（地域の大学、高等専門学校等）との共催を予定していたがコロナ感染症の影響により規模縮小・人数制限して開催	幼児～一般県民	12/4, 5	569名	希望者全て	ホームページ、事業案内を各学校等に送付、市町の広報誌	栃木県
○ 6	各種教室開催事業	科学に関する様々なニーズに対応した教室を開催して科学に親しむ場を提供する。	子ども総合科学館	科学工作教室、ミニ工作、移動科学教室、を開催した。 *科学工作教室のみ県民カレッジ登録事業	幼児～一般県民	年30回程度	1,362名	抽選等	ホームページ等	栃木県
7	プラネタリウム	天体や宇宙への興味・関心を喚起する。	子ども総合科学館	最新の天文学や季節の星座等を紹介する番組、子どもを対象に興味付けを主な目的とする番組及び学習指導要領に準拠した学習番組などバラエティーに富んだ内容を投影できた。	学校等の団体 幼児～一般県民	基本4回／日、 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止等	28,758名	団体は申込順 一般は発券順	当館ホームページや天文関係情報サイトへの掲示、館内掲示など	栃木県
○ 8	天体観察会	天体や宇宙への興味・関心を喚起する。	子ども総合科学館	感染症対策を行いながら、状況によってWeb配信も交えつつ、太陽、月をはじめ、惑星、銀河、星雲・星団などの天体について、一人ずつ覗く機会を提供した。 *夜間の天体観察会（星をみる会）のみ県民カレッジ登録事業	幼児～一般県民	年41回 (内Web配信17回)	1,261名 (開催したイベントのみ)	抽選等 Web配信は自由視聴等	当館ホームページや天文関係情報サイトへの掲示、館内掲示など	栃木県
9	天文教室・天文工作教室	天体や宇宙への興味・関心を喚起する。	子ども総合科学館	月食の様子を観察したり、簡易プラネタリウム等の天体に親しむためのツールの製作を行った。	幼児～一般県民	5/26, 10/10, 11/19	30名	申込順 Web配信は自由視聴等	当館ホームページや天文関係情報サイトへの掲示、館内掲示など	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
☆ 10	体験・育成事業	子どもに健全な遊びを提供し、心身の健康を増進し、情操の向上を図る。	子ども総合科学館	感染症対策を講じると同時に、受付方法を時間制、定員制にするなどして、各種あそびのプログラムを実施。日常的なあそびとして「工作のテイクアウト」、親子支援として「まめっこタイム」を実施。閉鎖となっていた『遊びの世界』再開に伴い「パズルの日」やボランティアによる「おりがみであそぼう」も実施した。また、「七色土玉でうつわをつくろう」や「忍者道場」「全国KAPLA®大会」「ウォーターバトル」「魔法学校」「科学館からの脱出II」などの特別プログラムを実施した。	幼児～一般県民	通年(休館日を除く毎日)、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館あり	延べ10,068名	内容毎に設定	ホームページ等	栃木県
☆ 11	乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理	子どもに健全な遊びを提供し、心身の健康を増進し、情操の向上を図る。	子ども総合科学館	感染症拡大防止対策を講じながら、変わり種自転車の貸出し、ミニ機関車の運行と点検・整備及び屋外遊具等の点検管理を行った。	幼児～一般県民	開館日(但し乗り物広場は12月～2月平日運休、新型コロナウイルス感染拡大防止のため7月30日～9月30日)	自転車、ミニ機関車利用者数合計76,189名	特になし	ホームページ等	栃木県
12	児童健全育成団体への支援・指導	児童健全育成の向上と市町児童館活動等の支援、また、児童厚生員等の資質向上及び交流を図る。	県内の市町児童館や関係機関	感染症拡大防止対策として内容の再検討や定員の縮小をし、あそびの出前を実施し、県内の市町児童館や関係機関の支援等を行った。県内児童館と共同でプログラムをおこなう「あそびの連携事業」を実施した。	県内の市町児童館や関係機関	あそびの出前：9回 あそびの連携事業：1回	144名	内容毎に設定	県内児童館及び各市町所管課に通知、ホームページ等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
13	児童館・児童クラブ職員研修	児童館・児童クラブに関する情報提供や児童厚生員・児童支援員の資質の向上を図る。	子ども総合科学館	児童館・児童クラブの児童厚生員・児童支援員への講演、実技講習として計画した5回を、感染症拡大防止の対策を講じた上で実施した。なお、法人認定の資格取得研修としての実施は平成29年度で終了している。	児童館・児童クラブに勤務する児童厚生員・児童支援員	5回	202名	申込順	県内児童館、各市町所管課を通じて児童クラブに通知	栃木県
14	児童館フェア(中止)代替事業として「とちぎのじどうかん展」	児童館活動の県民へのPRを図る。	子ども総合科学館	児童館活動写真展『じどうかんですまいるきゃっち』、県内児童館・児童センターが作成したワークキットおよび「じどうかんマップ」を配布する『工作のテイクアウトfeat.じどうかん』を実施した。	幼児～一般県民	1/16～3/29	『工作のテイクアウト』 2,417名	特になし	ホームページ等	栃木県
15	とちぎミュージカル協会公演 ①「みんなの宇宙」 ②「クリスマスに贈るミュージカル・パフォーマンス」 (とちぎミュージカル協会主催、公益財団法人とちぎ未来づくり財団共催)	子どもたちによるミュージカルパフォーマンスを通して、身近なものとして芸術文化に触れ、子どもの心の健康を増進し、情操の向上を図る場を提供する。	子ども総合科学館	とちぎミュージカル協会所属の複数の団体によるミュージカル公演。子どもたちによる子どもたちのためのミュージカルパフォーマンスとして①科学館ならではのオリジナル演目と②クリスマスにちなんだ演目を上演。運営に当たっては、舞台上の演者もマスク着用するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止の各種対策を取って実施された。	幼児～一般県民	① 11/20, 21 全3回公演 ② 12/18, 19 全4回公演	①261名 ②416名 計677名	特になし	ホームページ等	
16	「ざぶん賞20年の歩み×SDGs大賞展」 (一般財団法人ざぶん環境・文化プロジェクト主催、公益財団法人とちぎ未来づくり財団共催)	「子どもたちから大人たちへ「波」を」をテーマに生命の源である水や海のテーマに通じて「命」や「自然」の大切さについて考えてもらうことを目的とした事業を支援する。	子ども総合科学館	小中学生を対象に募集した水をテーマとした作文とアーティストとの共同作品「ざぶん賞」の20周年記念展示、及び、中高生を対象にSDGs活動への取り組みの顕彰。	幼児～一般県民	2/13～2/20 (2/14を除く)	712名	特になし	ホームページ等	

令和3(2021)年度栃木県子ども総合科学館利用状況調べ(前年度との比較)

(単位:人)

人数		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
展示場	大人	4,772	3,624	2,732	6,026	0	0	4,706	4,120	3,117	3,262	3,199	6,418	41,976
	前年度	98	536	1,458	3,265	4,277	3,946	2,527	2,891	1,385	412	1,227	5,748	27,770
	小人	3,310	4,722	3,300	5,467	0	0	6,859	6,734	4,628	2,072	1,887	4,668	43,647
	前年度	100	337	615	2,121	2,558	4,753	6,642	4,997	821	291	985	4,958	29,178
	合計	8,082	8,346	6,032	11,493	0	0	11,565	10,854	7,745	5,334	5,086	11,086	85,623
	前年度	198	873	2,073	5,386	6,835	8,699	9,169	7,888	2,206	703	2,212	10,706	56,948
プラネ	大人	1,257	1,264	841	1,770	0	0	1,424	1,201	997	1,088	976	1,547	12,365
	前年度	0	119	309	1,166	1,690	1,174	832	884	578	149	358	1,310	8,569
	小人	828	1,799	1,483	2,090	0	0	2,461	2,350	1,532	836	605	1,320	15,304
	前年度	0	66	135	793	1,072	999	1,746	1,625	471	80	361	1,087	8,435
	合計	2,085	3,063	2,324	3,860	0	0	3,885	3,551	2,529	1,924	1,581	2,867	27,669
	前年度	0	185	444	1,959	2,762	2,173	2,578	2,509	1,049	229	719	2,397	17,004
乗り物 広場 (自転車 ミニEL)	大人	2,514	3,052	1,262	1,017	0	0	2,248	3,089	1,257	1,792	1,722	3,078	21,031
	前年度	220	643	897	1,048	1,212	2,298	2,201	3,160	1,127	389	595	2,378	16,168
	小人	3,294	3,462	1,487	1,276	0	0	2,768	3,551	1,558	2,083	1,990	4,017	25,486
	前年度	448	820	644	780	1,242	2,329	2,703	3,468	1,271	460	882	3,595	18,642
	合計	5,808	6,514	2,749	2,293	0	0	5,016	6,640	2,815	3,875	3,712	7,095	46,517
	前年度	668	1,463	1,541	1,828	2,454	4,627	4,904	6,628	2,398	849	1,477	5,973	34,810
有料入館 者合計		15,975	17,923	11,105	17,646	0	0	20,466	21,045	13,089	11,133	10,379	21,048	159,809
	前年度	866	2,521	4,058	9,173	12,051	15,499	16,651	17,025	5,653	1,781	4,408	19,076	108,762
無料公開など		20,234	26,367	30,596	15,942	7,597	9,333	20,510	24,489	15,806	17,451	17,170	25,479	230,974
各種教室など		1,220	2,607	826	978	38	0	266	1,259	947	407	952	317	9,817
総合計		37,429	46,897	42,527	34,566	7,635	9,333	41,242	46,793	29,842	28,991	28,501	46,844	400,600

(単位:円)

収入 金額		4,577,640	4,367,160	2,867,360	5,365,580	0	0	5,222,750	5,089,200	3,380,770	3,150,450	2,980,600	6,064,850	43,066,360
	前年度	167,440	615,550	1,248,140	2,866,880	3,740,910	4,178,160	3,663,920	3,910,760	1,484,310	459,750	1,232,460	5,514,760	29,083,040

収入金額 148.1%

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	とちぎ 海浜自然の家	恵まれた自然の中での集団宿泊生活、野外活動、自然観察等を通して、体力の向上や豊かな情操及び社会性を培い、心身ともに健全な青少年を育成するとともに、生涯学習の振興に資することを目的として栃木県が平成4年に設置した社会教育施設である。 茨城県銚田市の玉田海岸から太平洋を望む丘陵地に位置しており、海浜の広大な自然環境の中で宿泊を伴う多様な団体活動を行う場を提供することにより、青少年の健全な育成と生涯学習の充実を図ることを目的としている。	茨城県銚田市玉田 336番地2	宿泊室：洋室47、和室4、 計280人宿泊可能 大学習室、小学習室、海の展示館、海の図書館、体育館アリーナ、室内温水プール、帆船型屋外アスレチック	県内宿泊料（生活館・ロッジ）：中学生以下350円、高校生等1,250円、一般3,000円 県外宿泊料（生活館・ロッジ）：中学生以下700円、高校生等2,500円、一般5,000円 その他光熱水費、リネン料、食料、プール代等	栃木県

2 主催事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
1	臨海自然教室	海辺での集団宿泊や自然活動など様々な体験的な学習を提供し、子ども及び青少年の健全育成を図る。	海浜自然の家	「海の分教室」として、海に関する教育資源を活用したプログラムを教育活動の一環として実施した。	県内小学5年生	通年	16,217名	特になし	県内各小学校に通知	栃木県
2	各種団体受入事業	青少年育成関係団体や社会教育団体等の学習・研修・交流活動、家族のふれあい活動などの支援を図る。	海浜自然の家	利用団体の様々な研修目的に応じた多様な学習の場を提供し、研修活動を支援した。	研修を目的とした団体	通年	10,670名	特になし	ホームページ、各市町・団体への利用案内やチラシの送付	栃木県
3	利用団体 指導者等研修	とちぎ海浜自然の家の主要事業である臨海自然教室や社会教育団体等による利用の指導効果を高めるため、指導法の研修を行う。	海浜自然の家	施設の特徴などを理解してもらうために、指導者に活動プログラムを体験してもらったり、プログラムの相談をしたりして利用のための研修を行った。	・臨海自然教室 実施校教員 ・社教団体指導者	4/22(木)	41名	特になし	県内各小学校、各種団体に通知	栃木県
○4	海釣り&ひぬまで イカダ乗り	磯釣りやイカダ・漁船乗り等の活動を通して、家族、仲間とのふれあいを深めるとともに、自然のすばらしさを体験する。	海浜自然の家	海浜自然の家近辺の海で、磯釣りを通して自然の素晴らしさを体感する活動を計画した。	栃木県民一般 (小学4年生以上)	5/8(土)～ 5/9(日)	62名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○5	海浜メロン狩り1	地元特産のメロン狩りを通して、親子・家族、仲間のふれあいを深める。	海浜自然の家	メロン生産量日本一の銚田市でのメロン狩り体験活動を計画した。	栃木県民一般	5/29(土)～ 5/30(日)	98名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
6	海浜メロン狩り2	地元特産のメロン狩りを通して、親子・家族、仲間のふれあいを深める。	海浜自然の家	メロン生産量日本一の銚田市でのメロン狩り体験活動を実施した。	栃木県民一般	6/5(土)～ 6/6(日)	101名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
○ 7	真夏の祭典！地引網	海を持たない栃木県民が、海にかかわる体験活動を通して、自然のすばらしさを体感するとともに、家族、仲間とのふれあいを深める。	海浜自然の家	地引き網体験や砂浜遊び、夜のお祭り広場など、海浜で夏のイベントを楽しむ活動を実施した。	栃木県民一般	7/10(土)～7/11(日)	108名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 8	とちぎ・いばらき協力地引網	栃木県と茨城県の家族（親子）が、海での自然体験や交流を通して、自然のすばらしさを体感するとともに、仲間とのふれあいを深めたり、協力することの大切さを学んだりする。	海浜自然の家	栃木県と茨城県の家族同士による交流活動や野外調理、創作活動を通して家族相互のつながりを築いた。他にも地引網体験や砂浜活動も実施した。	栃木及び茨城県民の家族（小学生以上）	※新型コロナウイルスの影響により中止	—	—	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 9	めざせ！釣り名人	海釣り等の活動を通して、家族、仲間とのふれあいを深めるとともに、自然のすばらしさを体験する。	海浜自然の家	海浜自然の家近辺の海で、海釣りを通して自然の素晴らしさを体感する活動を計画した。	栃木県民一般（小学4年生以上）	※新型コロナウイルスの影響により中止	—	—	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 10	海浜どきどきキャンプ	テント泊や野外調理等の体験活動を通して、家族や仲間と協力することの大切さや必要性を体感するとともに、自然の中でたくましく生きるための知識・技能の習得を図る。	海浜自然の家	テントでの宿泊を中心に、カニ釣りやサバイバル野外調理などを取り入れた自然体験活動の実施を計画した。	栃木県民一般（小学生以上）	10/23(土)～10/24(日)	65名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 11	満腹！海浜の味覚	秋の味覚や収穫する喜びを味わうなどの体験活動を通して、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間とのふれあいを深める。	海浜自然の家	さんまの干物づくりや網焼き試食。銚田市名産のさつまいも掘り体験や、つば焼きいもの試食など、秋の味覚を楽しむ活動を実施した。	栃木県民一般	11/20(土)～11/21(日)	115名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 12	開運！海浜初日の出	初日の出鑑賞や正月遊びなどの伝統文化の体験を通して、新春を迎える喜びを味わうとともに、家族・仲間の親睦を深める。	海浜自然の家	初日の出の観賞。たこ作り、たこあげ、もちつき見学など、お正月ならではの活動を実施した。	栃木県民一般	12/31(金)～1/1(土)	130名	抽選	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 13	海浜あんこうまつり	冬の味覚を味わい、活動プログラムを体験することを通して、自然のすばらしさを体感するとともに、家族、仲間の親睦を深める。	海浜自然の家	迫力の「あんこう吊し切り」実演。あんこう汁など冬の味覚「あんこう」を楽しむ活動を計画した。	栃木県民一般	※新型コロナウイルスの影響により中止	—	—	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県
○ 14	水族館ツアー	海の生き物に触れることや、その生態を学ぶことを通して、家族、仲間の親睦を深める。	海浜自然の家 アクアワールド大洗	水族館見学や普段は見られない水族館の裏側も見学。移動水族館や講話などを通して、海の生き物についての体験学習を実施した。	栃木県民一般	※新型コロナウイルスの影響により中止	—	—	ホームページ、県広報媒体による広報、各市町・団体への主催事業案内の送付	栃木県

令和3(2021)年度 とちぎ海浜自然の家 利用状況

1 利用者数

	月									
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
未就学児	県内	0	0	29	189	38	0			
	県外	6	0	19	96	26	0			
延利用者数	県内	6	0	48	285	64	0			
	県外	0	1,610	3,846	602	0	0			
小学生 (臨海生)	県内	0	0	0	0	0	0			
	県外	0	0	0	0	0	0			
延利用者数	県内	0	1,610	3,846	602	0	0			
	県外	0	0	0	0	0	0			
小学生	県内	76	74	251	858	489	0			
	県外	16	72	633	559	761	0			
延利用者数	県内	92	146	884	1,417	1,250	0			
	県外	0	16	6	48	58	0			
中学生	県内	0	16	6	48	58	0			
	県外	140	124	0	19	11	0			
延利用者数	県内	140	140	6	67	69	0			
	県外	310	0	1	120	16	0			
高校生等	県内	0	0	0	0	0	0			
	県外	0	0	0	18	0	0			
延利用者数	県内	310	0	1	138	16	0			
	県外	43	292	596	446	278	0			
その他	県内	21	24	58	171	227	0			
	県外	64	316	654	617	505	0			
合計	県内	429	1,992	4,729	2,263	879	0			
	県外	183	220	710	863	1,025	0			
延利用者数	県内	612	2,212	5,439	3,126	1,904	0			
	県外	419,500	696,900	1,365,600	1,529,100	1,528,200	0			
前年度	延利用者数	50	0	117	554	1,425	1,067			
	利用料収入	72,350	0	77,700	318,550	1,049,900	300,250			

2 グール利用

施設利用人数	96	61	103	402	285	0
施設利用収入	18,000	7,300	15,600	58,200	50,700	0

3 その他

光熱水費相当額	127,050	458,500	1,045,100	528,850	371,000	0
リネソ料	48,000	179,400	455,400	229,200	155,600	0
体験活動費	700	218,712	619,180	206,990	111,120	0

4 利用料収入合計

利用料収入合計	613,250	1,560,812	3,500,880	2,552,340	2,216,620	0
前年度	87,610	0	98,450	491,560	1,559,460	707,630

5 主催事業収入合計

主催事業収入合計	49,010	1,053,450	662,940	657,400	0	0
前年度	0	0	215,890	733,340	826,300	0

6 収入総合計

収入総合計	662,260	2,614,262	4,163,820	3,209,740	2,216,620	0
前年度	87,610	0	314,340	1,224,900	2,385,760	707,630

1 利用者数

(人数:人 / 金額:円)

	月			合計				
	10	11	12					
未就学児	県内	6	27	51	0	0	23	363
	県外	62	8	19	0	0	2	238
延利用者数	68	35	70	0	0	25	601	
小学生(臨海生)	県内	1,907	2,933	3,417	0	0	111	14,426
	県外	0	0	0	0	0	0	0
延利用者数	1,907	2,933	3,417	0	0	111	14,426	
小学生	県内	30	64	172	258	0	519	2,791
	県外	150	194	479	237	0	173	3,274
延利用者数	180	258	651	495	0	692	6,065	
中学生	県内	0	0	104	44	0	109	385
	県外	2	40	237	206	0	6	785
延利用者数	2	40	341	250	0	115	1,170	
高校生	県内	0	0	0	76	0	40	563
	県外	2	0	8	2	0	2	32
延利用者数	2	0	8	78	0	42	595	
その他	県内	253	370	584	162	0	132	3,156
	県外	41	79	171	38	0	44	874
延利用者数	294	449	755	200	0	176	4,030	
合計	県内	2,196	3,394	4,328	540	0	934	21,684
	県外	257	321	914	483	0	227	5,203
延利用者数	2,453	3,715	5,242	1,023	0	1,161	26,887	
利用料収入	471,550	931,250	1,622,900	684,850	0	524,850	9,774,700	
前年度	5,164	3,296	2,035	128	142	315	14,293	
利用料収入	1,161,750	652,100	549,700	118,200	14,800	173,200	4,488,500	

2 プール利用

施設利用人数	10	68	100	185	0	54	1,364
施設利用収入	1,600	7,100	17,100	29,900	0	6,800	212,300

3 その他

光熱水費相当額	358,050	734,300	961,800	215,950	0	215,600	5,016,200
リネン料	154,800	234,400	446,600	71,800	0	91,600	2,066,800
体験活動費	392,820	607,840	590,910	9,625	0	127,310	2,885,207

4 利用料収入合計

利用料収入合計	1,378,820	2,514,890	3,639,310	1,012,125	0	966,160	19,955,207
前年度	3,241,166	1,825,240	1,388,414	147,350	102,430	289,757	9,939,067

5 主催事業収入合計

主催事業収入合計	315,900	722,200	0	735,450	0	0	4,196,350
前年度	0	1,060,670	0	700,900	0	214,700	3,751,800

6 収入総合計

収入総合計	1,694,720	3,237,090	3,639,310	1,747,575	0	966,160	24,151,557
前年度	3,241,166	2,885,910	1,388,414	848,250	102,430	504,457	13,690,867

176.40%

4 栃木県立なす高原自然の家管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 受託事業(施設管理)

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	なす高原自然の家	<p>青少年の団体宿泊訓練をはじめとする県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全な育成と生涯学習の充実を図ることを目的として栃木県が平成16年に設置した社会教育施設である。</p> <p>日光国立公園の最北端、那須郡那須町にあり、標高1,915mの茶臼岳を背景に、眼下に那須野が原、遠く八溝・筑波の山嶺が一望できる標高1,030mの高所に位置し、那須高原の豊かな自然の中で、四季を通じて登山、ハイキング、スノーシューハイキングなど各種の自然体験活動ができる。</p>	那須郡那須町湯本157	<p>宿泊室：洋室25、和室5、バリアフリー室5、講師洋室4、講師和洋室1 計200人宿泊可能</p> <p>大研修室、中研修室、小研修室、体育館、体験プラザ</p>	<p>○宿泊料（県内在住者）：中学生以下 500円（学校教育活動等の一環として利用する場合は無料）、高校生 1,000円、大学生 2,000円、その他 2,500円（県外は別料金）</p> <p>○日帰り団体の施設利用料：大研修室 4,930円～、中研修室 1,850円～、小研修室 1,230円～、体育館・体験プラザ 2,050円～（学校教育活動等の一環として利用する場合は無料（県外含む））</p>	栃木県

2 受託事業(子ども及び青少年の健全育成事業)

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
1	各種団体受入事業	青少年育成関係団体や社会教育団体等の学習・研修・交流活動などの支援を図る。	なす高原自然の家	利用団体の様々な研修目的に応じた多様な学習の場を提供し、研修活動を支援した。	研修を目的とした県内の団体	通年	15,693名	希望者全て	ホームページ、各市町・団体への利用案内やチラシの送付	栃木県
2	利用団体指導者研修	利用団体の指導者を対象に研修を行い、利用団体が安全・安心な活動ができるよう図る。	なす高原自然の家 ほか	施設案内、活動プログラムや活動のポイント紹介。併せて登山の研修も計画した。	利用団体の指導者	5/11(火)	33名	—	利用予約団体への通知	栃木県
○	3 ウィンディなすボランティア研修	ボランティアとしての知識・技能を習得する研修を実施し、社会貢献活動の促進と施設ボランティアの育成を図る。	なす高原自然の家	ボランティアに関する講義及び登山・創作活動などの実習等を行った。	県内外の18歳以上の方(大学生以上)	5/15(土)～5/16(日)	13名	抽選	ホームページ、ポスターの掲示、県広報誌等への掲載、各市町・関係機関への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○	4 ふれあい登山 in 那須連峰①②③	登山の基礎知識・基礎技術の習得を図りながら、登山の楽しさを味わい、参加者相互の交流を図る。	なす高原自然の家	初心者、中級者を対象に、登山についての講義や登山を実施した。(2回は新型コロナウイルス感染症のため中止)	①県内外の成人 ②県内外の家族(小学生以上) ③県内外の成人	3回 ①6/5(土)～6/6(日) ②8/7(土)～8/8(日) ③10/10(土)～10/11(日)	①24名 ②中止 ③26名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
5	那須疏水探検ツアー	那須疏水を中心に那須野ヶ原地域の自然や歴史についての理解を深める。	なす高原自然の家 ほか	那須疏水現地見学のほか、那須野ヶ原公民館長の講義等を計画した。	県内外の家族・成人	8/17(土)～8/18(日)	中止		ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
○ 6	わくわく体験デー	調理活動・創作活動等とおして、親子のふれあいを深める。	なす高原自然の家	創作活動と調理活動を行った。	家族	10/24（日）	56名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 7	こどもチャレンジキャンプ	様々な体験活動とおして、仲間を作ることで、協力することの大切さを学び、たくましく生き抜く力を身につける。	なす高原自然の家	子どもたちだけで、創作活動や仲間と協力して取り組む調理活動等を行った。	小学5、6年生	11/6（土）～ 11/7（日）	23名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 8	クリスマスファミリーデー	クリスマスにちなんだ体験活動とおして、家族の交流を深める。	なす高原自然の家	クリスマスリース作りなどの創作活動やブッシュノエルなどのクリスマス調理活動を行った。	家族	12/11（土）～ 12/12（日）	54名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 9	冬のファミリーデー①②	冬的那須の自然とふれあいながら、家族の交流を深める。	なす高原自然の家	ミニかまくら作り、スノーシューハイキングなどの自然体験活動を計画した。	家族	2回 ①1/23（土）～ 1/24（日） ②2/13（土）～ 2/14（日）	①中止 ②中止	-	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 10	なすエンジョイツアー①②（新規）	地域の特性を生かした体験活動などとおして、家族・仲間との交流を深める。	なす高原自然の家	近隣の施設と協力して、冬ならではの体験をし、家族・仲間との交流を図った。夜はキャンプファイアーを実施した。同じ内容で2回実施。	家族	2回 ①1/9（土）～ 1/10（日） ②3/13（土）～ 3/14（日）	中止	-	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 11	ふれあい広場	障がいのある方と家族間の交流及びボランティアとの交流を深める。	なす高原自然の家	野外体験活動やレクリエーション、親同士の情報交換会、調理活動をボランティアを交えて行った。	成人の障がいのある方とその家族、特別支援学校や学級に通う児童・生徒と家族（3歳以上）	2/27（日）	13名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 12	ウインディクラブ	各回ごとに一つの創作活動を提案し、作品作りをおして、家族・仲間のふれあいを深める。	なす高原自然の家	家族や仲間と創作活動を行い、交流が深まる内容を計画した。	県内外の家族・成人	12月（6回程度）	中止	-	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
○ 13	スノーシューハイキング	自然の家周辺をスノーシューでハイキングすることで、冬的那須の自然とふれあいながら、雪上活動を楽しむ。	なす高原自然の家	ミニかまくら作り、スノーシューハイキングなどの自然体験活動を実施した。	県内外の家族・成人	1/15（土） 2/20（日） 23 （水）	12名	-	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県

令和3(2021)年度 なす高原自然の家 利用状況

1 利用者数

	月								
	4	5	6	7	8	9	10	11	12
未就学児	県内	0	0	0	438	23	0	0	0
	県外	0	0	0	0	28	0	0	0
小学生	県内	0	152	1,328	926	125	18	18	18
	県外	0	0	48	122	36	0	0	0
中学生	県内	844	559	475	185	0	35	35	35
	県外	34	0	0	109	0	0	0	0
高校生等	延利用者数	878	559	475	294	0	35	35	35
	県内	0	17	24	192	0	0	0	0
大学生等	県内	0	0	0	0	0	0	0	0
	県外	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	県内	102	106	271	370	48	25	25	25
	県外	198	32	31	127	32	0	0	0
合計	延利用者数	300	138	302	497	80	25	25	25
	延利用者数	946	834	2,098	2,111	196	78	78	78
前年度	延利用者数	314	0	76	134	536	1,366	1,366	1,366
	延利用者数	1,415,000	0	0	124,500	242,000	172,000	172,000	172,000

2 施設利用

施設利用件数	0	37	116	141	29	4
施設利用収入	0	0	0	0	0	1,230

3 その他

光熱水費相当額	316,480	149,640	370,660	450,210	65,790	0
リネン料	131,600	97,440	229,600	256,760	31,640	0
体験活動費	87,500	150,800	308,200	339,750	58,700	24,500

4 利用料収入合計

利用料収入合計	1,480,080	470,380	1,273,960	2,193,720	428,130	25,730
前年度	1,576,450	0	0	171,830	401,070	720,770

5 主催事業収入合計

主催事業収入合計	0	91,500	214,900	0	0	0
前年度	0	0	0	0	225,150	0

6 収入総合計

収入総合計	1,480,080	561,880	1,488,860	2,193,720	428,130	25,730
前年度	1,576,450	0	0	171,830	626,220	720,770

1 利用者数

(人数:人 / 金額:円)

	月			合計				
	10	11	12					
未就学児	県内	202	44	44	64	3	10	828
	県外	66	0	0	0	0	0	94
小学生	延利用者数	268	44	44	64	3	10	922
	県内	1,966	1,921	752	127	25	74	7,414
県外	150	235	0	0	0	132	723	
中学生	延利用者数	2,116	2,156	752	127	25	206	8,137
	県内	138	441	144	0	264	6	3,091
県外	0	0	0	0	0	27	170	
高校生等	延利用者数	138	441	144	0	264	33	3,261
	県内	0	0	0	8	2	0	243
県外	0	0	0	0	0	0	183	
大学生等	延利用者数	0	0	0	8	2	0	426
	県内	0	0	0	42	2	110	154
県外	0	0	0	0	0	0	0	
その他	延利用者数	0	0	0	42	2	110	154
	県内	267	386	196	21	73	43	1,908
県外	51	32	0	0	0	11	514	
合計	延利用者数	318	418	196	21	73	54	2,422
	県内	2,573	2,792	1,136	262	369	243	13,638
県外	267	267	0	0	0	170	1,684	
前年度	延利用者数	2,840	3,059	1,136	262	369	413	15,322
	利用料収入	532,000	502,000	95,000	101,200	73,200	308,800	4,413,700
2 施設利用	延利用者数	1,460	1,245	235	39	374	406	6,185
	利用料収入	237,500	86,500	52,000	0	42,000	156,000	2,527,500
3 その他	施設利用件数	128	154	40	22	16	34	721
	施設利用収入	0	0	0	17,240	0	0	18,470
4 利用料収入合計	利用料収入合計	1,887,900	1,810,210	495,690	194,930	198,090	453,970	10,912,790
	前年度	684,600	516,970	117,460	17,000	183,900	323,420	4,713,470
5 主催事業収入合計	主催事業収入合計	291,100	133,400	318,850	0	39,000	0	1,088,750
	前年度	155,750	82,500	250,350	119,450	17,000	174,350	1,024,550
6 収入総合計	収入総合計	2,179,000	1,943,610	814,540	194,930	237,090	453,970	12,001,540
	前年度	840,350	599,470	367,810	136,450	200,900	497,770	5,738,020

209.2%

5 文化振興関係事業

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

☆印は青少年と文化の連携事業

1 コンクール

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	選定方法	周知方法	備考
1	<全国発信型事業> とちぎ舞台芸術 アカデミー2021 【音楽部門】 第25回コンセル ・マロニエ21	とちぎから全国へ発信する事業の一環として、新進演奏家を支援するとともに、県内演奏家のレベルアップを図る。	栃木県総合文化センター／メインホールほか	①声楽、②ピアノ、③弦楽器、④金管楽器、⑤木管楽器の5部門を毎年1部門ずつ順番に実施する。2020年度木管楽器部門（フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット）が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった為、今年度同一部門を行った。	各部門で年齢的な対象を設定するが、それ以外は特に制約はない。（在住地・国籍不問）	7月3日（土） 「録音審査」 「オーディション」8月28日（土） 「本選・表彰式」 10月23日（土）	（参加者） 録音審査73名 （通過者32名） オーディション30名 本選9名 （入場者） オーディション68名 本選92名	録音審査（非公開）、オーディション（公開）、本選（公開）の3段階審査により入賞者を決定する。	参加要項リーフレット・ポスター等を全国の文化施設や高校・大学の音楽科、県内の生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。音楽専門雑誌への広告掲載。ホームページほか。	音楽
2	<全国発信型事業> とちぎ舞台芸術 アカデミー2021 【舞踊部門】 第25回ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー 留学生オーディション 《中止》	とちぎから全国へ発信する事業の一環として、世界最高峰のバレエ学校公式留学の機会を設け、将来世界に羽ばたく新進のバレエ実演者を支援するとともに、県内の若い実演者のレベルアップとグローバルな意識の向上を図る。	栃木県総合文化センター／リハーサル室ほか	世界へ通じるプロダンサーの登竜門と位置づけ、282年の歴史ある名門クラシック・バレエ学校「ロシア国立・バレエ・アカデミー」との共催による、公式留学生オーディションを行う。可否を決定する審査に加え、ワガノワメソッドの実技指導も行う。	高校生（概ね15歳）～20歳のプロを目指す若手バレエ実演者で、アカデミー留学を強く希望する者。（在住地・国籍不問）	7月10日（土）～11日（日）	—	バー&センターレッスン一次、二次の2段階オーディションにより合格者を決定する。非公開審査。	参加要項リーフレット・ポスター等を全国の文化施設やバレエ教室・バレエ団、県内の生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。バレエ専門雑誌への広告掲載。ホームページほか。	舞踊 ※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

2 講習会、セミナー等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	参加方法	周知方法	備考
1	マロニエ文化まなびのひろば「考古学セミナー」 《中止》	埋蔵文化財や地域の歴史、過去の人々の生活への理解と関心の喚起を図る。	未定	テーマを決め、埋蔵文化財センターの専門職員による考古学講座を行う。	一般	年4回	—	申込順（有料）	募集チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。ホームページほか。	考古学 ※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

3 ワークショップ

☆

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加費	参加方法	周知方法	備考
1	とちぎ舞台芸術アカデミー2021 【舞踊部門】 第27回ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー レッスン講座 《中止》	若い実演者の育成とグローバルな視野を育てる為、県内小学～高校生のバレエ実演者に世界の優れた指導者から直接指導を受ける機会を設け、バレエの技術習得の向上と普及啓発を図る。	栃木県総合文化センター／リハーサル室	世界最高峰のバレエ学校「ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー」教授により、基礎、初級、中級、マスタークラスの4段階の各技術水準に合わせたバレエ実技講習会を行う。	県内のバレエ教室でレッスンを受ける小学～高校生のバレエ実演者	7月9日(金) ～11日(日)	—	申込多数の場合抽選(有料)	募集チラシを県内の関係機関へ郵送するほか、県内のバレエ教室を通じて、幅広く周知。ホームページほか。	舞踊 ※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。
2	とちぎ舞台芸術アカデミー2021 【音楽部門】 《栃木県ジュニアピアノコンクール特別企画》レクチャーピアノコンサート	県内の小学生から高校生までのピアノ実演者とその指導者の技術の向上とクラシック音楽の普及啓発を図る。	栃木県総合文化センター／サブホール	子どもたちがピアノを学ぶ上で欠かせない3人の偉大な作曲家(バッハ・シューマン・バルトーク)をテーマとしたレクチャーピアノコンサートを開催した。	県内の教室でピアノを学ぶ小学生から高校生までのピアノ実演者とその指導者・保護者等	8月7日(土)	34名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から収容人数を半数にして実施。	入場無料(整理券)	参加案内を、県内の関係機関へ郵送する他、県内の楽器店を通じて幅広く周知。ホームページほか。	音楽 ※今年度の「栃木県ジュニアピアノコンクール」開催なし(事業内容再構築準備のため)
3	とちぎ舞台芸術アカデミー2021 【音楽部門】 栃木県楽友協会「第九」合唱ワークショップ 《中止》	クラシック音楽及び合唱への関心の喚起を図るとともに、県民合唱実演者及び観客の育成に取り組む。	栃木県総合文化センター／音楽・演劇練習室、リハーサル室	ベートーヴェン交響曲第9番4楽章の合唱部分を学ぶワークショップ。ソプラノ、メゾソプラノ、テノール、バス・バリトンの4声種に分け、合唱団を編成し、栃木県楽友協会所属の指導者による発声・合唱を行う。参加者は、12月19日(日)開催の「栃木県楽友協会『第九』演奏会」に出演する。	栃木県民(高校生以上)の合唱実演者	年8回 (10月～12月)	—	申込多数の場合抽選(有料)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽 ※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

☆

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
4	第9回ミュージカルワークショップ in とちぎ海浜自然の家	栃木県における子ども達へのミュージカルの振興を図るとともに関心を喚起し、ミュージカル団体の活動を広く県民に周知する。	とちぎ海浜自然の家	海浜自然の家宿泊によるワークショップを、とちぎミュージカル協会所属の指導者による歌・ダンス・芝居を組み合わせたプログラムで行う。	宿泊が可能な小学3年生程度～高校生までの児童・生徒	3月26日(土)～ 3月28日(月)	60名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から定員を減少して実施。	申込順 (有料)	募集チラシを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。ホームページほか。	ミュージカル

4 鑑賞型文化振興事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
1	《栃木県総合文化センター開館30周年記念事業》 栃木県新人音楽家演奏会 ―未来にはばたけとちぎの音楽人―	県内及び首都圏の音楽大学等と連携し、栃木県ゆかりの新人音楽家に演奏発表の機会を提供し、本県音楽文化の担い手の育成を図るとともに、演奏者の栃木県における音楽活動を支援することにより、栃木県音楽文化の振興・発展に寄与する。	栃木県総合文化センター/メインホール	栃木県総合文化センター開館30周年記念事業として企画した新規事業。音楽大学等(宇都宮大学、宇都宮短期大学、上野学園大学/国立音楽大学/昭和音楽大学/洗足学園音楽大学/東京音楽大学/東京藝術大学/東邦音楽大学/桐朋学園音楽大/武蔵野音楽大学)学部新卒者による演奏会を行った。	出演者：栃木県出身者、県内の小中学校・高等学校いずれかの卒業生または栃木県内の大学等に通学する者で出演時に学部新卒(卒業後1年内)の者 鑑賞者：一般・学生及び生徒	5月9日(日)	出演者：10名 入場者：655名	一般：入場券購入 学生及び生徒：無料	チラシ・ポスターを県内外の音楽大学等及び県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽ほか
2	平日の贈り物♪ランチタイムコンサート	クラシック音楽等の普及啓発を促進するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター/サブホール	平日昼間に開催する、休憩なし60分コンサート。チケット提示により、会場周辺のパートナー店によるサービスも提供した。 ①Vol. 38 「西口彰子 ソプラノ・リサイタル」 ②Vol. 39 「石上真由子 ヴァイオリン・リサイタル」 ③Vol. 40 「浜 まゆみ マリンバ・リサイタル」	一般	①Vol. 38 : 6月15日(火) ②Vol. 39 : 1月13日(木) ③Vol. 40 : 3月11日(金)	①193名 ②147名 ③168名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から収容人数を半数にして実施。	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽 ※県民の日協賛行事申請事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
3	赤ちゃんと一緒！ 0歳からのクラシックコンサート	クラシック音楽を、子ども達と一緒に鑑賞できる機会を提供することによって、家族でのクラシック鑑賞のきっかけ作りに役立てる。	栃木県総合文化センター／メインホール	0歳から入場可能なファミリー向けクラシックコンサートを午前と午後に分けて開催した。	一般	(1日2回/午前・午後) 8月9日(月祝)	午前： 181名 午後： 77名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
4	とちぎ舞台芸術アカデミー2021【音楽部門】 栃木県交響楽団特別演奏会～とちぎが誇る全国音楽コンクール「コンセール・マロニエ21」優勝者を迎えて～	クラシック音楽の普及啓発を促進し、舞台芸術鑑賞機会の提供を図るとともに、若手演奏家へ演奏機会を提供する。	栃木県総合文化センター／メインホール	「コンセール・マロニエ21」入賞者支援の一環として、同コンクール優勝者等をコンチェルトソリストに迎え、県民オーケストラによる演奏会を開催した。ソリストは第24回優勝者(金管楽器部門)。	一般	9月12日(日)	424名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
5	音楽劇『海の上のピアニスト』	演劇全般の普及啓発を図る。	栃木県総合文化センター／サブホール	ピアノ生演奏と歌、芝居からなる音楽劇の公演を行った。	一般	(1日2回) 9月23日(木祝)	昼の部： 131名 夜の部： 143名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	演劇
6	《栃木県総合文化センター開館30周年記念事業》 声優朗読劇フォアレーゼン「日光三剣士伝」	劇場離れの激しい若い世代へ舞台芸術の普及啓発と舞台芸術鑑賞機会の提供を図り、興味関心をもつきっかけづくりとする。	栃木県総合文化センター／メインホール	栃木の歴史や文化・自然現象等を題材にしたオリジナル脚本を用い、若年層に人気を誇る県出身声優アーティスト当による音楽・リーディングからなる朗読劇を行った。	一般	10月3日(日)	225名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から収容人数を半数にして実施。	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	演劇ほか
7	とちぎ舞台芸術アカデミー2021【音楽部門】 ～音楽って素晴らしい！学校でこんにちは！～ 学校訪問演奏会	児童生徒へのアウトリーチ事業として、クラシック音楽等の普及啓発を図る。	県内小・中学校／体育館・音楽室等	「コンセール・マロニエ21」入賞者を中心とするプロのアーティストが、県内の小・中学校を訪問し、トークやレクチャーを交えて音楽のすばらしさを子ども達に紹介するクラシック演奏会を実施した。声楽。	河内・上都賀・芳賀地区の小学生・中学生・義務教育学校生	年2回 ①10月14日(木)日光市立落合東小学校 ②11月11日(木)宇都宮市立城山東小学校	①日光市立落合東小学校：103名 ②宇都宮市立城山東小学校：165名	—	開催学校へ通知。学校から生徒・保護者・地域住民等に周知。	音楽

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
8	《栃木県総合文化センター開館30周年記念事業》 ららら♪クラシックコンサート	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	人気の音楽番組『ららら♪クラシック』を劇場で愉しめるコンサート形式で行った。出演は宮本文昭(司会)、宮本笑里(ヴァイオリン)ほか。	一般	11月3日(水祝)	467名 ※新型コロナ感染症拡大防止の観点から収容人数を半数にして実施。	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽ほか
9	とちぎ舞台芸術アカデミー2021 【音楽部門】 第13回栃木県楽友協会『第九』演奏会 《中止》	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	栃木県楽友協会合唱団(栃木県オペラ協会及び公募で編成された合唱団)と、栃木県楽友協会管弦楽団(栃木県交響楽団等)、栃木県ゆかりのソリストによる、オールとちぎの『第九』演奏会を行う。	一般	12月19日(日)	—	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽 ※R3年度は新型コロナ感染症拡大防止の観点から中止。
10	とちぎ舞台芸術アカデミー2021 【音楽部門】 フレッシュアーティスト・ガラ・コンサート	クラシック音楽の普及啓発を図り、舞台芸術鑑賞機会の提供を図るとともに、若手演奏家へ演奏機会を提供する。	栃木県総合文化センター／サブホール	2020年度(第24回)と2021年度(第25回)開催の「コンセール・マロニエ21」優勝者とゲストによる演奏会を行った。	一般	1月23日(日)	127名	入場無料(整理券)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
11	《栃木県総合文化センター開館30周年記念事業》 ショパン国際ピアノコンクール入賞者ガラコンサート-リサイタル形式- 《中止》	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	5年に一度開催される世界最高峰のピアノコンクール「ショパン国際ピアノコンクール」の優勝者及びファイナリストらによるガラ・コンサートを開催する。	一般	1月30日(日)	—	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽 ※R3年度は新型コロナ感染症拡大防止の観点から中止。

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	参加方法	周知方法	備考
12	箏アーティストLEO (今野玲央) リサイタル	邦楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	東京藝術大学在学中より「情熱大陸」、「題名のない音楽会」等人気TV番組で注目を集め「徹子の部屋」クラシック2020に抜擢された新進気鋭の若手箏奏者が、ゲストにチェロ・ピアノを迎え、新しいタイプの演奏会を実施した。	一般	2月20日(日)	296名 ※新型コロナ感染症拡大防止の観点から収容人数を半数にして実施。	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
13	《栃木県総合文化センター開館30年記念事業》 栃木県総合文化センター 狂言シリーズ第25弾! 狂言 万作の会	狂言の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール特設能舞台	人間国宝 野村万作と萬斎、裕基親子三代出演の狂言と、野村萬斎による狂言鑑賞講座を、記念公演として特別に土曜に行った。	一般	3月5日(土)	621名 ※新型コロナ感染症拡大防止の観点から収容人数を半数にして実施。	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	古典芸能
16	(準備事業) とちぎ舞台芸術アカデミー2021 【音楽部門】 栃木県ジュニアピアノコンクール	栃木県内でピアノを学ぶ小学生から高校生の研鑽意欲を高め、ジュニア世代のピアノ演奏技術の向上とクラシック音楽の普及啓発を図る。	—	前身の「栃木県ピアノコンクール」から32年の歴史と実績を生かし、子供たちの豊かな感性をより育てる内容でコンクールを実施するため内容の再構築を行う。	—	—	—	—	—	音楽

5 共催文化振興事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
1	劇団四季The Bridge～歌の架け橋～	ミュージカルの普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	劇団四季によるミュージカル公演を行った。	一般	4月29日(木祝)	1,128名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	ミュージカル

☆

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
2	第15回ミュージカルフェスティバル「下野王国WARS」 《中止》	ミュージカルの普及啓発を図るとともに、県内ミュージカル団体の活動を広く周知する。	栃木県総合文化センター／サブホール	とちぎミュージカル協会加盟6団体と「第7回ミュージカルワークショップinとちぎ海浜自然の家」参加者による創作ミュージカル公演を行う。	一般	年1回 (2回予定) 5月2日(日)	—	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	ミュージカル ※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。
3	第23回しもつけ写真大賞展	写真の普及啓発を図るとともに、写真愛好家の意欲の高揚を図る。	栃木県総合文化センター／ギャラリーほか	県民から一般募集した作品の審査及び展示を行った。	応募対象は一般県民(有料)	5月8日(土)～16日(土)	1,300名	入場無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	写真
4	平原綾香コンサート	軽音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	有名ミュージカにも主役級で出演を果たす、実力派シンガー平原綾香のコンサートを行った。	一般	6月6日(日)	584名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽 ※R2年度中止の延期公演。
5	落語「二人会」(春風亭昇太・林家正蔵)	落語の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	人気落語家、春風亭昇太ほかによる落語公演を行った。	一般	9月2日(木)	282名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	古典芸能 ※R2年度中止の延期公演。
6	本物の芸術を子ども達に キエフ・クラシック・バレエ『白鳥の湖～全2幕～』 《中止》	子ども達にクラシックバレエに触れる機会を提供する。	栃木県総合文化センター／メインホール	ウクライナのバレエ団による、来日公演。チャイコフスキーの大傑作「白鳥の湖」を、4歳から観賞可能なバレエ公演として行う。	一般	(1日2回) 9月22日(水)	各回 1,604名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	舞踊 ※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。
7	(公社)宇都宮法人会・関東信越税理士会宇都宮支部 秋季講演会 平野早矢香講演会	著名文化人による講演会の聴講機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター／メインホール	ロンドンオリンピック卓球女子団体銀メダリスト平野早矢香による文化講演会を行った。	一般	11月12日(金)	338名	入場整理券(申込順)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	講演会

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
8	アルゼンチンタンゴ	民族舞踊・音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター/サブホール	踊り・歌・演奏からなるアルゼンチンタンゴの公演を行う。	一般	12月11日(土)	202名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	舞踊・音楽
9	第45回栃木県文化振興大会 《中止》	文化活動関係者の意欲の高揚を図るとともに、文化行政への理解の促進を図る。	足利市民プラザ/文化ホール	県内の文化活動関係者が一堂に会して実施する文化交流大会の助成を行う。	一般	1月27日(木)	なし	申込順	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	文化振興 ※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。
10	古澤 巖ヴァイオリンの昼と夜(仮) 《中止》	クラシック音楽の普及啓発を図るとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター/メインホール	日本を代表する人気ヴァイオリニスト、古澤巖のコンサートを行う。	一般	(1日2回) 2月～3月	—	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽 ※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。
11	《栃木県総合文化センター開館30年記念》NHK「新・BS日本のうた」公開録画	演歌・ポップスの普及啓発を図るとともに、放送番組制作現場を体験する機会の提供を図る。	栃木県総合文化センター/メインホール	開館30周年を記念して、NHKの大型歌番組を抽選で入場者を選定し、公開録画を行った。	一般	3月17日(木)	623名 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から収容人数を半数にして実施。	入場無料(整理券) 《抽選》	NHK宇都宮放送局による広報。栃木県・財団ホームページ。チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町等へ郵送。新聞への掲載。	音楽
12	第29回栃木県郷土芸能大会 《中止》	郷土芸能の普及啓発を図るとともに、鑑賞機会の提供を図る。	未定	県内の郷土芸能団体による発表大会の助成を行う。	一般	年1回	なし	入場無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	郷土芸能 ※R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

予定：33事業67公演等 実施：22事業38公演等 中止：11事業29公演等

6 埋蔵文化財センター事業

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

☆印は青少年と文化の連携事業

1 受託事業（施設）

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	栃木県埋蔵文化財センター	県内における埋蔵文化財の保護及び調査研究、保存活用、知識の普及啓発、市町支援・連携を行うことによって、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に埋蔵文化財に関する県の中核的施設として栃木県が設置している。	下野市紫474番地	常設展示室、研修室、図書室、学習室、研究室、保存処理分析室、整理室、記録保管室、情報処理室、写場・暗室、搬入室、洗浄室、収蔵庫、木器室、金属器室、事務室等	常設展示室、研修室、図書室、学習室：無料	栃木県

2 発掘調査事業

No.	事業名（遺跡名）	調査の原因	所在地	遺跡の性格・時代	発掘調査の内容	契約期間	委託元
1	重要遺跡等範囲確認調査（本沼窯跡群）	重要遺跡範囲等確認	益子町本沼地区	奈良・平安時代窯跡	県が選定した重要遺跡である本沼窯跡群の範囲等確認調査の報告書を作成した。	R3. 4. 1～R4. 3. 30	栃木県
2	重要遺跡等範囲確認調査（侍塚古墳）	いにしえのとちぎ発見どき土器わく湧く事業	大田原市湯津上地区	古墳時代古墳	国指定史跡である上侍塚古墳の範囲等確認調査を実施した。	R3. 4. 1～R4. 3. 30	栃木県
3	下津原古墳群	栃木県教育委員会が計画する新青少年教育施設整備事業	栃木市岩舟地区	古墳時代、近世古墳・窯跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R3. 4. 30～R4. 3. 30	栃木県
4	城ノ内遺跡	栃木県県土整備部が計画する一般県道結城石橋線多功工区の事業	上三川町多功地区	奈良・平安時代、中世～近世集落跡・城館跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R3. 4. 1～R4. 3. 30	栃木県
5	四十八塚古墳群	栃木県県土整備部が計画する一般県道山形寺岡線出流原PAスマートインター整備事業	佐野市出流原地区	古墳時代・中世古墳・集落跡	発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R3. 4. 1～R4. 3. 30	栃木県
6	荒井館跡・水口龍泉寺跡・船山遺跡	栃木県農政部が計画する農地整備事業	大田原市荒井町島地区	縄文時代・中世～近世集落跡・城館跡	発掘調査により出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R3. 4. 1～. 3. 30(県) R3. 12. 28～R4. 3. 22(市)	栃木県・大田原市
7	小泉分校裏遺跡ほか	栃木県農政部が計画する農地整備事業	益子町小泉・本沼地区	縄文～奈良・平安時代集落跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R3. 6. 1～R4. 3. 30	栃木県

No.	事業名（遺跡名）	調査の原因	所在地	遺跡の性格・時代	発掘調査の内容	契約期間	委託元
8	栗宮宮内遺跡	国土交通省が計画する国道4号歩道整備事業	小山市 栗宮地区	古墳時代～中・近世 集落跡	発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R3. 4. 1～R4. 3. 31	国土交通省
9	塚原遺跡・塚原古墳群	国土交通省が計画する国道4号矢板拡幅事業	矢板市 早川町地区	縄文時代～中世 集落跡・古墳・城館跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R3. 9. 13～R4. 3. 31	国土交通省
10	四十八塚古墳群	ネクソコ東日本・佐野市が計画する北関東自動車道出流原PAスマートIC建設事業	佐野市 出流原地区	古墳時代・中世 古墳・集落跡	発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R3. 4. 6～R4. 3. 30	佐野市
11	さくら市遺跡詳細分布調査	さくら市全域において埋蔵文化財包蔵地を把握するために、遺跡詳細分布調査及び整理・報告書作成を実施する。	さくら市 全地区	旧石器時代～近世 散布地外	これまで2カ年かけて行った市全域の踏査結果を遺跡分布地図とした報告書作成を実施した。3年度で終了。	R3. 6. 30～R4. 3. 18	さくら市
12	塩谷町遺跡詳細分布調査	塩谷町全域において埋蔵文化財包蔵地を把握するために、遺跡詳細分布調査及び整理・報告書作成を実施する。	塩谷町 全地区	旧石器時代～近世 散布地外	3年度は玉生地区を踏査し、遺跡の所在とその範囲、性格を調査した。4カ年計画の1年目。	R3. 10. 1～R4. 2. 28	塩谷町

3 講座、講演会、研修等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
1	埋蔵文化財活用のための基礎講座	講義、実習を通して埋蔵文化財（遺跡や出土品）の理解を深める。また、講師と受講者などで意見交換を行いながら、学校教育や生涯学習での埋蔵文化財の活用方法を検討する。	埋蔵文化財センター・史跡・博物館等	講義（旧石器、縄文、弥生、古墳、古代等）・展示室解説・体験学習（土偶作り、アングレン編み等）・埋蔵文化財センター施設見学	栃木県内で学校教育に従事する者（学校の教職員等）及び生涯学習に従事する者	8月17日・18日	3名	原則全員	ホームページ並びに県教育委員会及び市町教育委員会・教育事務所を通じて学校等へ通知	
○ 2	発掘調査報告会	埋蔵文化財への理解と関心を喚起するとともに、考古学愛好者の学術的ニーズに応える。	埋蔵文化財センター	主に前年度に発掘調査、整理作業を行った小泉分校裏遺跡・カスガ入窯址群遺跡・四十八塚古墳群について、画像等を用いて分かりやすく説明した。	一般県民	10月17日	32名	抽選	ホームページ、レインボーネット並びにリーフレットを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館・前年度参加者・刊行物定期購読者に送付	

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
○ 3	テーマ展示講座	テーマ展示の内容を、より深く理解することで歴史への興味の深化を図る。	埋蔵文化財センター	特定の時代や遺物あるいは通時代的なテーマを選定して、関連する出土品等の展示について講話を行う講座。今年度は当センター30周年記念展開催に伴い、職員による関連講座を実施した。	一般県民	1月16日	33名	抽選	開催要項およびチラシをホームページ、およびツイッターに掲載。チラシを県及び市町教育委員会・県内博物館・資料館等の生涯学習施設に配付。前年度参加者・メール会員にはメール電話などで通知	
4	発掘調査現地説明会	速報的に発掘調査の成果を周知するとともに、地域の歴史や文化に対する理解と関心を喚起する。	①城ノ内遺跡 ②山根遺跡 ③下津原遺跡 ④上侍塚古墳	通常見ることができない発掘調査中の遺跡に見学コースを設け、住居跡などについてわかりやすく説明する。また、出土した土器や石器なども陳列して解説した。	一般県民	①7月10日 ②11月7日 ③11月27日 ④12月11日	①87名 ②224名 ③111名 ④213名	①予約制 ②原則全員 ③原則全員 ④原則全員	ホームページ、ツイッター並びに地元市町教育委員会及び近隣の学校への通知。遺跡周辺住民への回覧板、新聞掲載	
○ 5	特別講演会	テーマ展示(30周年記念展)に関連して、県内の歴史や文化に対する理解と関心を喚起する。	埋蔵文化財センター ①特別講演会1 ②特別講演会2	①竹澤謙・橋本澄朗両氏を講師に迎え、発掘調査の成果からわかった栃木の歴史をリレー形式で講演。②国士舘大学眞保昌弘氏を講師に迎え、古代下野国の律令時代黎明期の様相について講演。	一般県民	①12月5日 ②3月13日	①36名 ②85名	完全予約制	開催要項およびチラシをホームページ、およびツイッターに掲載。チラシを県及び市町教育委員会・県内博物館・資料館等の生涯学習施設に配付。前年度参加者・メール会員にはメール電話などで通知	
6	出前授業等	児童・生徒に、地域の歴史や過去の人々の生活に対する興味と関心を喚起する。	学校・生涯学習関連施設等	当センター職員が、当該学校周辺で出土した土器などを用い、生活の移り変わりを中心とした地域の歴史についての授業を行った。また、勾玉作り体験や土器・石器作り、アンギン編み体験も実施した。	各市町小・中・高等学校、博物館・図書館	11校、11団体(6月4、7月4、8月3、10月1、11月6、12月2、1月1、2月1)	697名	希望校・団体は全て	ホームページ及びリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	
7	史跡見学会 ※コロナウイルス感染症蔓延防止のため今年度は実施せず	バス周遊により遺跡を見学し、県内の史跡の特徴を理解を深めるとともに、関心を喚起する。	-	-	一般県民	-	-	抽選	ホームページ・ツイッター及びリーフレットを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館・前年度参加者・刊行物定期購読者に送付	
8	ボランティア養成 ※コロナウイルス感染症蔓延防止のため今年度は実施せず	埋蔵文化財センター普及事業に携わるボランティアを養成する。	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター施設及び周辺の史跡見学に対する解説、勾玉作り等体験学習の指導を行うため、養成講座を行う。	ボランティア希望者	-	-	申込順	ホームページ並びにリーフレットを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館・前年度参加者・刊行物定期購読者に送付	

4 体験教室等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
1	埋蔵文化財センター特別公開	一般県民に広く埋蔵文化財センターの業務を周知するとともに、埋蔵文化財に関する理解を深める。	埋蔵文化財センター	施設公開及び体験学習を実施した。今年度は、時間毎に体験メニューを限定する「時間割方式」で対応した。	一般県民 (主に未就学児・小学生・および保護者)	7月30日～ 8月2日	各日予約制 午前・午後 40名に設定 (延216名)	抽選	ホームページ及びリーフレットを県及び市町教育委員会・県内各学校・博物館・資料館、メール会員前年度参加者に通知	
2	埋蔵文化財センター見学	来所者に対し埋蔵文化財センターの業務を周知し、出土品の実物に触れながら、過去の人々の生活に対する理解を深める。	埋蔵文化財センター	常設展示および施設見学、収蔵庫での出土品の観察を行った。	学校、依頼のあった団体等	43校、5団体(4月3、5月6、6月27、7月5、10月1、11月3、2月1、3月2)	1827名	特になし	ホームページ及びセンターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付	
3	体験学習	来所者が原始・古代の物作り等を楽しみながら体験することにより、過去の生活への理解を深める。	埋蔵文化財センター	センター見学時に勾玉作り体験を実施した。	小・中学生等 一般県民	11校、1団体(4月1、6月10、2月1)	389名	希望者は全て	ホームページ及びリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	
4	周辺史跡案内	実際に史跡を見学することにより、その規模等を体感し、歴史への理解を深める。	埋蔵文化財センター周辺の史跡(摩利支天塚・琵琶塚古墳、国分寺、国分尼寺等)	当センター職員が史跡に児童・生徒等を引率し、分かりやすく説明した。	学校、依頼のあった団体等	41校、2団体(4月2、5月3、6月27、7月4、10月1、11月3、2月1、3月2)	1748名	特になし	ホームページ及びセンターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付	
5	埋蔵文化財センター職場体験※1件の申し入れ→コロナのため中止	埋蔵文化財センターでの整理作業、発掘現場での発掘調査に従事して、職業の実体験をする。	埋蔵文化財センター・発掘調査現場	整理作業(水洗、注記、拓本採り、実測、トレース等)	依頼の依頼のあった学校・教諭等	-	-	希望者は全て	ホームページ、センターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付	
6	発掘調査体験	地域の歴史を体験し、郷土愛を育てる。	上侍塚古墳発掘現場	上侍塚古墳周溝の発掘作業を行う。	大田原市立湯津上中学校 ①2年生 ②1年生	①11月1日 ②11月4日	①28名 ②34名	希望者は全て	ホームページ、センターだよりを教育委員会・学校・博物館等に送付	

5 情報誌等の発行

No.	種別	目的	実施場所	作成部数等	配布先	活用方法等	備考
1	発掘調査報告書(四十八塚古墳群、谷津入窯跡群・カスガ入窯跡群・西山窯跡、荒井館跡・水口龍泉寺跡、粟宮宮内遺跡)	発掘調査の成果を資料化して公表するとともに、成果を記録保存として後世に伝える。	埋蔵文化財センター	各300部	都道府県教育委員会・県内市町教育委員会・博物館・図書館・考古学講座開設大学等	教育委員会、博物館等に配布し、様々な研究目的を持った埋蔵文化財担当者が発掘調査した遺跡の情報を利用するとともに、図書館等に配布し一般県民が閲覧できるようにした。	

No.	種別	目的	実施場所	作成部数等	配布先	活用方法等	備考
2	研究紀要 第30号	調査・普及部門の充実を図るため、当センター職員の日頃の調査研究の成果を発表する。	埋蔵文化財センター	500部	都道府県教育委員会・県内市町教育委員会・博物館・図書館・考古学講座開設大学等	教育委員会、博物館等に配布し、様々な研究目的を持った埋蔵文化財担当者が調査研究成果の情報を利用するとともに、図書館等に配布し一般県民が閲覧できるようにした。また、希望者には、埋蔵文化財センター及びホームページで頒布も行った。	
3	情報誌「埋蔵文化財センターだより」12月号、3月号	児童・生徒、一般県民及び県内外各機関等に、県内の発掘調査情報、埋蔵文化財センターでの普及啓発事業及び埋蔵文化財全般に関して広報する。	埋蔵文化財センター	12月号 3,500部 3月号 3,500部 (壁新聞1,000部)	県内学校・教育委員会・博物館・資料館等、県外都道府県教育委員会・市町・博物館・資料館、定期購読者、見学者等	配布された各機関・個人が教育目的・学習目的に活用する。3月号は、壁新聞を付録として作成し、掲示できるようにした。埋蔵文化財センター見学者、各行事参加者に配布した。	
4	「発掘調査成果情報誌」No.76・77・78・79	発掘調査報告書が専門的な内容であるため、一般県民に分かりやすい成果概要を発行する。	埋蔵文化財センター	各4,000部	県内学校・教育委員会・博物館・資料館等、県外都道府県教育委員会・市町・博物館・資料館、定期購読者、見学者等	配布された各機関・個人が教育目的・学習目的に活用する。埋蔵文化財センターが、遺跡や特定の地域について照会を受けた時に説明資料として使用する。	

6 展示等

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
1	常設展示	遺跡、出土品等から分かった栃木県の歴史を展示・解説するとともに、埋蔵文化財センターの仕事を紹介する。	埋蔵文化財センター	文字資料だけではなく、発掘調査等考古学的手法を駆使した歴史解明の方法を説明した。また遺跡、出土品等を、時代順(旧石器時代～平安時代)に展示した。	一般県民	常時	1,631名	特になし	ホームページ並びにリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	
2	3館連携展示 「巡回展 栃木の遺跡」	栃木県立博物館・なす風土記の丘資料館(那珂川町・大田原市)・栃木県埋蔵文化財センターの4館で、特定の時代や遺物あるいは通時代的なテーマを選定し、関連する出土品等の展示を行う。	埋蔵文化財センター	特定の時代や遺物あるいは通時代的なテーマを選定して、関連する出土品等の展示を行う。	一般県民	4月18日～6月20日	講座 なし	特になし	ホームページ並びにリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	
3	特集展示 「発掘調査速報展」	埋蔵文化財センターが直近に発掘調査を行った遺跡について、その成果を展示し、県民に解説する。	埋蔵文化財センター	前年度に埋蔵文化財センターが発掘調査、整理作業を行った遺跡について、出土品や写真パネル等を展示した。	一般県民	7月4日～10月22日	206名	特になし	ホームページ並びにリーフレットやセンターだよりを各学校に送付	

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
4	テーマ展示 (埋蔵文化財センター30周年記念展)	埋蔵文化財センター設立以来30年間の発掘調査成果のうち、栃木県の歴史を考える上で、重要な所見や新たな発見のあった遺跡を取り上げ、展示を通じその意義を伝える。	埋蔵文化財センター	旧石器時代から近世の、各時代の代表する遺跡・遺物を選出し、写真・解説パネルを作成、出土品を展示した。	一般県民	10月31日～1月30日	366人	特になし	ホームページ、ツイッター、市町の広報誌	
5	市町資料館等連携展示	地域の遺跡・出土品を活用した事業の企画・実施をサポートする。	①沼田居美術館(足利市:あがた駅南遺跡展) ②宇都宮市立南図書館(土偶展)	市町等と協力し、各会場地域周辺の出土品を用いて地域の歴史を対象とした展示や解説をした。	連携する市町の住民	①7月4日～8月29日 ②11月5日～11月28日	-	特になし	ホームページ、市町の広報誌	
7	県庁本館ミニ展示	遺跡の出土品を活用し、広く県民に埋蔵文化財や歴史への関心や理解を深める。	県庁本館企画展示コーナー	「とちぎの精華-歴史に咲いた蓮華文-」と題し、国分寺出土瓦や、青磁碗、墨書土器を展示した。	一般県民	2月7日～2月25日	-	特になし	ホームページ	
8	総合文化センター展示	遺跡の出土品を活用し、広く県民に埋蔵文化財や歴史への関心や理解を深める。	総合文化センターロビー	埋蔵文化財センターで発掘調査した遺跡の出土品を総合文化センターのロビーで展示をした。	一般県民	①11月27日～2月7日:八剣遺跡出土注口土器 ②2月8日～4月31日:国分寺跡出土鏡瓦	-	特になし	ホームページ	
9	フォトCD展	フォトCD化した遺跡の調査成果を活用し、広く県民に埋蔵文化財や歴史への関心や理解を深める。	埋蔵文化財センター企画展示コーナー	今年度フォトCD化した上三川町多功南原遺跡の出土遺物や、報告書・写真パネルを展示。	一般県民	3月22日～3月31日	352人	特になし	ホームページ	
10	その他の展示(企画展示)	遺跡の出土品を活用し、広く県民に埋蔵文化財や歴史への関心や理解を深める。	埋蔵文化財センター常設展示室・企画展示コーナー	過去センターで調査した遺跡の出土遺物や、写真パネルを展示。また常設展の模型(下野国庁跡)と関連づけた補助解説パネルを作成展示した。	一般県民	①「下野国庁-朝賀の儀」11月11日～3月31日 ②山海道遺跡展 11月11日～3月31日	①343人 ②136人	特になし	ホームページ	

7 栃木県総合文化センター管理運営事業(指定管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用件数、利用料金収入	委託元
1	総合文化センター	総合文化センターは、県民の文化の振興及び福祉の増進を図るため、栃木県が平成3年に設置した公の施設である。また、県民の生活に潤いと活力をもたらすとともに、文化の振興に寄与することを設立目的としている。「文化の鑑賞・発表機会の提供」「本県文化を担う人材の育成」「文化交流の促進」「とちぎ文化の発信」の場として利用いただくよう運営に当たっている。当財団は、開館した平成3年度から第3期指定管理者7年目となる令和3年度までの31年間一貫して管理運営に当たっている。	宇都宮市本町1番8号	メインホール、サブホール ギャラリー（1～4） 特別会議室、会議室（1～4） 練習室（音楽、演劇、古典芸能） リハーサル室、和室（1～2） プレイガイド	利用件数 4,840件 内、割引・減免利用 447件 時間外利用 559件 利用料金収入 102,104,990円	栃木県

No.	名称	目的	内容	対象	回数など	委託元
2	利用受付・打ち合わせ業務	施設の貸出受付及び打ち合わせをホスピタリティーを持って取り組むとともに、快適にご利用いただきリピーター利用者を確保する。	施設の貸出受付、利用者打合せ業務	施設利用者	抽選会参加団体数 253団体 利用者打合せ・施設下見件数 532件 学会・大規模大会件数 1件	栃木県
3	広報・情報の発信	施設の利用促進を図るとともに、県民への催事情報の提供を行う。	催し物案内の発行・ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供業務、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広告・広報活動業務	一般	催し案内 年6回発行25,200部/約640箇所 （配布） 催し案内増印配布(2,500部) HP：更新（6回）	栃木県
4	らくらくサービス業務	主催者の催し物運営をスムーズに進行できるようにバックアップするとともに、利用者の拡大を図る。	催事フロアサービス・ケータリング・飾花・舞台オペレート・ピアノ調律・看板製作、会議室・練習室等設営、白布レンタル、ゴミ処理等	施設利用者	お弁当の手配 154件 レイアウト変更 29件 舞台オペレート 26件 看板製作手配 25件 その他 215件	栃木県
5	保守点検業務	施設の維持管理及び利用者の安全確保のため保守点検業務を実施する。	舞台設備関係、施設設備関係、消防設備関係等の点検業務	—	舞台設備関係 5件、13回 舞台吊物、舞台照明、舞台音響等 施設設備関係 12件、48回 冷暖房、給排水、電気、昇降機等 消防設備関係 2件、3回 火災報知設備、非常放送設備等 その他 5件、31回	栃木県
6	工事及び修繕関係	施設の維持管理、利用者の安全確保及びサービス改善のため工事及び修繕を実施する。	故障箇所等や利用者の安全確保及びサービス改善のための工事・修繕	—	ホール設備関係 0件 修理等 一般設備関係 19件 自家発電設備起動用蓄電池変更工事等 環境改善関係 0件 その他 12件 演劇練習室アップライトピアノ修理等	栃木県
7	危機管理対策	利用者の安全確保ため、防火・防災訓練等を実施する。	危機管理マニュアル整備及び防火・防災訓練の実施 新型コロナウイルス感染症対策の各種対応	職員	消防・避難訓練（消防署通報訓練） 1回 1月21日実施 消火訓練 1回 6月24日実施	栃木県
8	事業評価	更なるサービス向上を図るため事業評価を実施する。	利用者アンケート、抽選時アンケート、来館者アンケート等の実施	施設利用者	新規利用者161件調査、繰返利用者150件調査、抽選参加者253団体中78件回答	栃木県

令和3年度 栃木県総合文化センター 施設別利用率、収入金額一覧

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
メインホール	利用率	36.7%	26.9%	48.0%	53.3%	53.8%	40.0%	54.8%	56.7%	60.7%	63.6%	52.6%	61.3%	50.8%
	収入金額	2,198,740	2,410,980	3,229,870	2,948,060	2,923,260	2,178,280	4,239,390	3,348,840	4,435,640	3,025,520	2,973,310	3,256,350	37,168,240
サブホール	利用率	43.3%	52.0%	70.8%	56.7%	46.2%	40.7%	50.0%	76.7%	46.4%	68.2%	50.0%	71.0%	56.1%
	収入金額	797,870	1,034,060	1,306,550	1,368,260	1,004,700	1,031,120	809,720	1,867,830	1,252,370	1,091,600	737,850	1,515,740	13,817,670
ギャラリー	利用率	44.9%	63.0%	40.0%	30.6%	25.8%	44.4%	57.0%	71.7%	44.2%	62.9%	69.8%	47.3%	49.8%
	収入金額	766,570	1,089,840	536,230	512,490	437,560	745,080	967,980	1,161,050	687,630	704,480	1,046,850	785,600	9,441,360
会議室	利用率	46.7%	43.3%	48.3%	60.0%	41.5%	37.6%	63.1%	65.2%	66.8%	51.3%	58.7%	49.3%	52.6%
	収入金額	1,974,700	1,968,670	2,090,920	2,902,770	2,352,960	1,716,150	3,019,950	3,164,880	2,786,720	1,756,720	2,464,480	2,159,090	28,358,010
練習室	利用率	49.2%	50.8%	51.0%	57.5%	50.8%	45.8%	63.7%	69.2%	61.6%	67.0%	52.4%	49.2%	55.5%
	収入金額	629,190	712,810	592,420	1,032,910	825,790	670,290	962,890	919,870	871,350	635,920	676,210	646,680	9,176,330
楽屋	収入金額	194,170	348,680	345,170	294,710	347,740	251,460	421,150	426,620	490,010	268,040	264,050	491,580	4,143,380
収入金額合計 (参考)	R3年度	6,561,240	7,565,040	8,101,160	9,059,200	7,892,010	6,592,380	10,421,080	10,889,090	10,523,720	7,482,280	8,162,750	8,855,040	102,104,990
	R2年度	661,770	82,510	1,624,360	4,075,750	4,938,170	7,189,830	7,587,380	10,985,870	8,013,820	5,073,890	5,113,490	6,796,460	62,143,300

* 収入金額は利用実績であり、取り消し及び変更に伴う還付の収入は含まない。

収入金額
前年同月比 164.3%

らくらくサービス収入金額

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
(参考)	R3年度	210,532	99,832	766,712	369,730	185,542	525,207	413,700	656,471	778,929	431,726	563,544	605,020	5,606,945
	R2年度	48,616	16,615	12,944	318,570	76,402	78,053	310,785	723,349	520,137	247,090	286,426	468,426	3,107,413

収入金額
前年同月比 180.4%